

(別紙4(2))

事業所名 : 東雲の丘グループホーム 2号館

作成日 : 令和 6年 2月 26日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	今年飲ませ忘れが数回発生していることから、誤薬防止の対策が望まれる。	誤薬(薬の飲ませ忘れ等)をしない	入居者に薬を飲んでもらう際、職員が2人以上いる場合は2人で確認して薬の提供をする。職員が1人の時は名前と日付を声に出して読んで提供する。また、飲ませ忘れがないよう職員の目につきやすいところに薬をセットする	1ヶ月
2	4	運営推進会議の構成員として、利用者、利用者家族も委員の一員となっているため、参加できるよう工夫が望まれる。	入居者や入居者のご家族に運営推進会議に参加してもらう	運営推進会議の日程を入居者やそのご家族に連絡し、参加をお願いする	2ヶ月
3	6	定期的な身体拘束等の適正化のための研修の実施、および運営推進会議において報告し、委員からのアドバイス、情報共有が望まれる。	身体拘束適正化委員会を運営推進会議において開催し、外部委員を交えて意見交換し、職員の定期ミーティング時に身体拘束廃止について話し合い、その重要性を周知する	運営推進会議を活用して身体拘束適正化委員会を開催し、具体的な事例を挙げ、外部委員を交えての意見交換を行う	2ヶ月
4	40	グループホームは家庭的な雰囲気の中で過ごすことが求められており、職員も利用者と一緒に同じテーブルで同じ食事を摂れる工夫が求められる。	昼食は入居者と職員が同じテーブルで一緒に食事を摂る	普段から入居者一人ひとりとコミュニケーションを取り、食事を摂りながらの会話が弾み、お互い楽しむ	1ヶ月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。